

SSKS

2025. 4月号

No. 573

せんかわだより

～あるがままに あたりまえに～



機能の向上をめざして活動を提供します



【できることは自分でとりくみ、できることを増やしていきます】

武蔵野千川福祉会では、利用者の将来を見据え、機能の向上をめざした支援を追究しています。

一人ひとりの利用者が自分の役割を発揮できるような役割分担をもとに、さまざまな活動や、新たな仕事に積極的にとりくむことで、それぞれの力を伸ばし、ゆたかな暮らしにつなげていきます。

児童期から成年期、さらには老年期と、それぞれのライフステージにおいて、意欲や達成に向けて期待を持つことのできる活動を提供し続けるため、日々工夫と改善を進めます。



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>



東京都福祉サービス第三者評価を受審しました ～令和 6 年度 ワークイン中町・武蔵境ワーキングセンター～

「東京都福祉サービス第三者評価」とは、第三者の目から見た評価結果を幅広く利用者や事業者公表することにより、利用者に対する情報提供を行なうとともに、サービスの質の向上に向けた事業者のとりくみを促すことで、利用者本位の福祉の実現をめざすものです。

東京都福祉サービス評価推進機構（公益財団法人東京都福祉保健財団内に設置）が認証した評価機関と福祉サービス事業者の契約に基づき評価を実施し、評価機関が専門的・客観的な立場から評価した結果を「とうきょう福祉ナビゲーション」で公表するしくみになっています。

東京都の第三者評価の特徴として、評価機関は事業所の職員の自己評価や利用者アンケート調査を行なった上で、サービス現場の確認や職員へのヒアリングを通して、サービス内容や組織運営について総合的に分析し評価します。



【受審済みステッカー5枚目です】

評価は福祉サービスごとに異なる項目（共通評価項目）に基づいて行なわれており、利用者の声を聞く『利用者調査』と、事業者のサービス内容や組織運営を評価する『事業評価』を行なうことが特徴です。

社会福祉法第 78 条では、「（前略）自己評価の実施などによって自らの提供する福祉サービスの質の向上に努めなければならない」と規定しており、3 年に 1 回の受審が義務付けられています。

今年度は、ワークイン中町、武蔵境ワーキングセンターともに 5 回目の受審となります。今回は障害者施設の評価に数多くの実績がある「株式会社地域計画連合 福祉サービス評価室」に依頼し評価をいただきました。全体の評価講評を抜粋し今後に向けた改善点を報告します。

ワークイン中町（生活介護）

○特に良いと思う点

- ◆ 障害者総合支援法に基づく支援内容をバランスよく組み入れた活動を提供するとともに、先を見据えた生産活動に繋がるプログラムを設けている。

障害者総合支援法に基づき、支援内容をバランスよく提供している。生産活動では生活介護でありながら工賃が発生しており、法人としてのステップアップの道筋が感じとれる。

運動では関節の可動域や筋肉の柔軟性を意識した体操を行なっている。音楽活動では童謡を歌いながらリズムに合わせて楽器を使用し、美術活動では、旅行の思い出を収めるフォトフレーム制作や、牛乳パックを再利用し紙すきを行ない“うちわ”を制作するなど、将来の生産活動に繋がる工程を意識している。生活学習では、日々の利用者の様子から見てきた課題に対して、利用者全員で学習にとりくみ、傘の使い方、座る姿勢など、幅広い内容で展開することができている。



【作品を持ち帰る袋に色づけしました！】

○さらなる改善が望まれる点

- ◆ 個別支援計画の作成には全職員が関わっており、個別支援計画に沿った具体的な支援の結果をケース記録に記載するしくみ作りに期待したい。

利用者一人ひとりの個別支援計画の作成には、全職員が関わっているため、目標や支援内容は職員間で共有され、いつでも確認できるよう「個別支援計画書」は職員室の棚に設置している。しかし、個別支援計画とケース記録が連動していない部分があるという課題が見られている。今後は、いつでも手元で確認や振り返りができるようにケース記録の冒頭に目標や支援内容を記載する等の工夫を行い、支援計画に沿った具体的な支援内容とその結果、利用者の状態がどのように変化したかをわかりやすく記録に残すことが期待される。

武蔵境ワーキングセンター（就労継続支援 B 型）

○特に良いと思う点

- ◆ 働くことが生活の柱になる利用者への支援を中心とした事業所として、「生産活動の支援」と「人としての成長支援」を重視している。

生産活動においては、業務の工程の確立と共有、材料の配置や動線を整備することで、利用者の作業の技術的支援をサポートし、効率化を進めており、生産性が向上すれば工賃が上がるしくみを示している。

仕事を通じた人としての成長支援として、利用者が係活動や役割を担うことを通し、集団としての意識や責任感、自主性を持ち、働くことの楽しさや意義を感じることができるように関わっている。そのような要点が利用者に伝わるために、振り返りの時間を設定し、できたことを都度伝え、成長のスモールステップを積み重ねている。ここには仕事の原点がある。



【持てる力を十分に発揮して働きます】

○さらなる改善が望まれる点

- ◆ 生産性を高めることに、“人の成長”の視点を加味し、就労継続支援 B 型事業所としての新たな“働く”支援を模索している。

これまで、障害者が働くことを通して地域に貢献することを追求し、ダイレクトメールなどの作業を請け負ってきた。時代の変化に伴い、作業の多様化や付加価値が求められる中で、生産性に加えて人が成長する視点を加味し、新たな作業種の開拓が必要となっている。法人内の教育・研修委員会が開催する学習会の中で経営状況、視察の報告等を確認しながら、どのような作業種が必要なのか B 型事業所として共有しながら検討を進めている。工賃目標を達成し続けるために、全国に先行事例を求め、現場を見て新しい発見、知識を得ることで新たな作業種を獲得できることを期待する。

今後に向けて

今回の評価内容を受けとめ、私たち法人がやるべきことは、「障害のある人の人権、労働、生活を守り発展させ、要求に応えることに全力をつくす」ということです。これは法人理念の一つでもあります。常に学び続け、障害のある人の生涯がゆたかなものになるように、これからも邁進してまいります。

* 過去の結果や詳細は「とうきょう福祉ナビゲーション」でご覧いただけます
とうきょう福祉ナビゲーション <http://www.fukunavi.or.jp>

（文責：ワークイン中町 金田 大志）

『東京都 受注促進・工賃向上設備整備費補助事業』により封緘機を購入しました

就労継続支援 B 型事業所を対象とした“東京都受注促進・工賃向上設備整備費補助事業”により、ワークイン関前で封緘機を購入しました。

この事業は、新たな販路開拓や生産性の向上にあたり、必要な備品を整備するために必要な設備整備であり、東京都で定められた要件を満たす場合に東京都福祉保健局に申請することができます。

今回購入した封緘機により、より効果的に生産性を向上し、利用者の自立を促進できるようにします。



【とびっくす】～インスタだより vol.22～ #オープンカレッジ東京

3月9日（日）に武蔵野プレイスにて「オープンカレッジ東京2024」が開催されました。

今回は今年度のまとめの会として、テーマである『考える“わざ”を学ぶ』についてふり返るとともに、学びを深める機会となりました。

当法人からも6名の利用者が参加し、講師の話を聞きながら教材にとりくみました。皆さん年間を通して参加したこともあり、講師からの問いかけにも、大きな声で応える姿が見られました。最後には終了証が授与され、参加された皆さんが嬉しそうに受け取る姿が印象的でした。



今月の動向 ～令和7年3月～

4日(火) B型事業所学習会
5日(水) 常任理事会・センター連絡会議
9日(日) オープンカレッジ東京
14日(金) 就職説明会
18日(火) 常任理事会
19日(水) 所長会議
25日(火) 理事会
29日(土) 年度末全体職員研修
31日(月) 門出を祝う会（おひさま幼児教室）

来月の予定 ～令和7年4月～

1日(火) 入所式
2日(水) センター連絡会議
7日(月) 常任理事会
8日(火) おひさま歓迎会
9日(水) 就職説明会
16日(水) 所長会議
17日(木) GH学習会・生活介護学習会
23日(水) 幼児・児童学習会
24日(木) 常任理事会



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>

＜発行人＞ 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 東京都世田谷区祖師谷3-1-17-102 TEL 03(6277)9611

＜編集人＞ 社会福祉法人 武蔵野千川福祉会 東京都武蔵野市境南町4-20-5 TEL 0422(30)0022 定価 50 円